SIGMA-ALDRICH®

# 製品安全データシート

改訂 2012年 10月 12日

## 整理番号 H5160

## 【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名、化学名、別名

ヒペルフォリン

Hyperforin

会社情報

会社名 :シグマ アルドリッチ ジャパン合同会社
住所 :東京都品川区東品川2-2-24
担当部門 :コンプライアンスグループ
担当責任者:コンプライアンス担当
TEL :03-5796-7310
FAX :03-5796-7315
緊急連絡先:同上

## 【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

引火性液体:区分2
急性毒性(経口):区分5
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:区分2A
生殖毒性:区分1B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):区分1(中枢神経系,全身毒性,視覚器)
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分1(中枢神経系,視覚器)

GHSラベル要素

◇絵表示又はシンボル…

◇注意喚起語…

危険

◇危険有害性情報…

引火性の高い液体および蒸気
飲み込むと有害のおそれ(経口)
強い眼刺激
(気道刺激性)気道への刺激のおそれ/(麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害(視覚器,全身毒性,中枢神経系)
長期または反復暴露による臓器の障害(視覚器,中枢神経系)

◇取扱注意…

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温の物のような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
容器を密閉しておくこと。
(製品が危険有害な気体を発生させるような揮発性であり、静電気に敏感な物質を積みなおす場合は)容器および受器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護眼鏡/保護面/指定された個人用保護具を着用すること。
皮膚(または毛)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
応急処置等の特別処置はMSDS参照。
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
火災の場合:(水がリスクを増大させる場合は)MSDSまたは消防法で指定する適当な消火手段を使用すること。
容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
内容物/容器は国又は自治体の規則に従って廃棄すること。

## 【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別
混合物
成分及び含有量
ヒペルフォリン、0.25mg/mL(25%) メタノール溶液
化学式又は構造式
◇分子式…C35H52O4(ヒペルフォリン)、CH3OH(メタノール)
官報公示整理番号
◇化審法…(2)-201(メタノール)
CAS No.
11079-53-1(ヒペルフォリン)、67-56-1(メタノール)

## 【4. 応急措置】

◇吸入した場合
空気が新鮮な場所へ移す。呼吸がない場合、人工呼吸をほどこす。
◇ 皮膚に付着した場合
石鹸と大量の水で洗う。
◇目に入った場合
安全措置として眼を水で洗い流す。
◇飲み込んだ場合
意識のない時は、何も口から投与してはならない。水で口をすすぐ。

## 【5. 火災時の措置】

◇消火剤
水噴霧、耐アルコール泡、ドライケミカルまたは二酸化炭素。
◇消火を行う者の保護
必要であれば、自給式呼吸器を着用する。
◇有害燃焼生成物
火災時に有害分解物が生成する。- 炭素酸化物

## 【6. 漏出時の措置】

◇人体に対する注意事項
粉塵の発生を避ける。蒸気、ミスト、ガスの吸入を避ける。
◇環境に対する注意事項
本製品を排水溝に流してはならない。
◇封じ込め、除去のための方法・機材
掃き集めてすくい取る。処理用の適切な密閉容器に保管する。

## 【7. 取扱い及び保管上の注意】

◇取扱い
粉塵が発生する場所では、十分な換気を行う。
◇貯蔵
換気のよい乾燥した場所で厳重に密閉した容器に保管する。
推奨保管温度:-20℃。

## 【8. 暴露防止及び保護措置】

1. 呼吸保護は必要ではない。粉塵の不快レベルにより保護が望まれる場合、N95型(US)またはP1型(EN 143)粉塵マスクを使用する。国立労働安全衛生研究所[NIOSH](US)またはCEN(EU)などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。
2. 手袋を着用して取扱う。使用前に、必ず手袋を検査する。(手袋外面に触れずに)適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。適用法令およびGLPに従い、使用後に汚染手袋を廃棄する。手を洗い、乾燥させる。
3. NIOSH(US)またはEN 166(EU)などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。
4. 特定の作業場における危険物の濃度と量に応じて、保護具を選択する。
5. 一般的な衛生策に従って取り扱う。

## 【9. 物理的及び化学的性質】

外観等: 液体

## 【10. 安定性及び反応性】

◇安定性
推奨保管条件下では安定。
◇避けるべき物質
強酸化剤
◇危険有害な分解生成物
火災時に生成する。- 炭素酸化物

## 【11. 有害性情報】

◇発がん性
IARC: この製品に0.1%以上含まれる成分で、IARC(国際がん研究機関)により、おそらくヒト発がん性を示す、ヒト発がん性を示す可能性がある、またはヒト発がん性物質であると確認されている物質はない。
ACGIH:この製品に0.1%以上含まれる成分で、ACGIHにより、発がん性または発がん性の可能性がある物質であると確認されている物質はない。
NTP:この製品に0.1%以上含まれる成分で、NTPにより、発がん性が知られている又は懸念される物質であると確認されている物質はない。
OSHA:この製品に0.1%以上含まれる成分で、OSHAにより、発がん性または発がん性の可能性がある物質であると確認されている物質はない。
◇起こり得る健康影響
吸入: 吸入したとき、有害となる可能性がある。吸入した場合、気道を刺激する可能性がある。
摂取: 飲み込んだとき、有害となる可能性がある。
皮膚: 皮膚から吸収されたとき、有害となる可能性がある。皮膚の炎症を起こす可能性がある。
眼: 眼に入った場合、眼の炎症を起こす可能性がある。
◇暴露による兆候および症状
化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

## 【12. 環境影響情報】

適当なデータが見あたらない。

## 【13. 廃棄上の注意】

◇製品
残り分およびリサイクル不可である溶液は、認可された廃棄業者に渡す。
◇汚染容器・包装
未使用製品と同様に処分する。

## 【14. 輸送上の注意】

国連分類及び国連番号

## 【15. 適用法令】

◇消防法…
危険物第4類アルコール類
◇労働安全衛生法…
法57(令18)名称等を表示すべき危険物及び有害物(メタノール)
法57-2(令18-2)名称等を通知すべき危険物及び有害物
No. 560

## 【16. その他の情報】

参考文献、参考資料

Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheet on CD-ROM
「化学品安全管理データブック 増補改訂第2版」化学工業日報社
「13700の化学商品」化学工業日報社
「化学物質等法規制便覧」化学工業日報社
「危険物関係法令 チェックリスト解説」第一法規出版株式会社
「日化協監修 化学品かんたん法規制チェック」日本ケミカルデータベース株式会社

本SDSは自社SDSデータベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本SDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。